

No. 6 : ベトナム・タイの交流強化 ～訪問団が本県の魅力発信～（令和4年12月27日）

12月20日から25日にかけて、福田富一知事を筆頭に栃木県訪問団がベトナム・タイを訪れ、とちぎの魅力発信事業を実施した。筆者も訪問団の一員として両国を訪問してきたため、今月と来月は、本事業の成果についてレポートしたい。

今回のベトナム・タイ訪問の主な目的の一つは、経済や観光分野におけるベトナム・タイとの交流強化である。そのため、政府機関や工業団地等を訪問し関係を深めてきた。

ベトナムにおいては、首相府、計画投資省、ビンフック省、第3タンロン工業団地等を訪問。特に、2021年11月に栃木県と覚書を締結したビンフック省では、ホアン・ティ・トゥイ・ラン書記兼議長をはじめとして省を挙げて熱烈な歓迎を受けるなど、栃木県を最重要のパートナーとして捉えていただけていることがうかがえた。

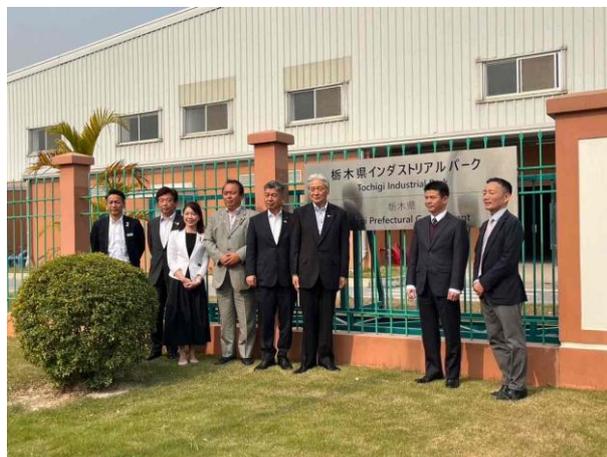
新たに「ベトナム社会主義共和国ビンフック省における工業団地優遇措置に関する協定書」を締結するとともに、ビンフック省に設置されている第3タンロン工業団地内には「栃木県工業団地」の看板が掲げられた。

栃木県内企業にとっては、第3タンロン工業団地内への入居にあたり、会社設立手続きの代行や手数料免除、入居後1年間の管理費の免除といった支援を受けられることとなったため、ベトナムに進出する際の有力な候補地となるだろう。

タイにおいては、タイ国政府観光庁でユッタサック・スパソーン総裁と面会し、総裁が若い頃に両親を連れて栃木県を訪れたエピソードなどに花を咲かせた。タイ国政府観光庁と栃木県の「観光交流促進に係る趣意書」を締結し、両者が実施する誘客プロモーション活動への相互支援や、相互の旅行者に対する有益な情報提供などで協力していくこととなった。

総裁からは「双方向の交流を具体的に進めていきたい」との発言もあり、今後、栃木県とタイとの間の観光交流がますます促進されるに違いない。

今回のベトナム・タイ訪問を契機として、栃木県と両国との交流はより一層強化されていくことだろう。そして、さまざまな分野での交流強化が、栃木県とベトナム・タイ相互の発展につながっていくことを期待したい。



【ベトナム・ビンフック省の第3タンロン工業団地に掲げられた「栃木工業団地」の看板と訪問団】

（県香港事務所長 如木啓之）